

日本ビール検定

2019年11月26日
一般社団法人 日本ビール文化研究会

第8回「日本ビール検定」結果報告

～クラフトビール人気を受け20代女性の受検申込者数が最も増加。
100点満点賞も20代女性！～

一般社団法人 日本ビール文化研究会(所在地：東京都渋谷区、代表理事：真田 久仁彦)は、2019年9月29日に開催した第8回「日本ビール検定(愛称：びあけん)」の受検結果を報告します。

第8回の受検申込者総数は3,217名、合格者総数は1,874名(合格率67.0%)となりました。これにより第1回から第8回までの受検申込者累計総数は約27,000名、合格者累計総数は約15,000名となりました。昨年と比較して受検申込者数が340名増と大きく増加に転じ、3年ぶりに3,000名を超えました。特に20代の伸びが顕著で、年代別・性別で見ると最も増加人数が多いのが20代女性でした。(表4参照)

昨今、クラフトビールの人気が高まり、多様なビールに触れる機会が増えたことで、自分の好みに合ったビールを見つけるための知識を身につけたいというエントリー層のニーズが高まっているものと思われます。

なお、本年も受検者特典である「満点賞」受賞者が3級で1名誕生しました。同賞は各級にて100点満点で合格された方だけに贈られる特別な賞で、これまでの受賞者はわずか5名となります。今回の同賞受賞者は京都府在住の20代の女性であり、ビール1年分を進呈いたします。

当会では、日本ビール検定を通してビールの多様性や楽しさを伝え、さらにビール文化の発展に貢献していきます。今後の活動についても、ぜひご期待下さい。

表1：級別申込者数・受検者数・合格者数 (単位：名)

	3級	2級	1級	合計
申込者数	1,391	1,559	267	3,217
受検者数	1,232	1,337	229	2,798
合格者数	1,042	811	21	1,874
合格率	84.6%	60.7%	9.2%	67.0%

表2：最高得点・平均点

	3級	2級	1級
最高得点	100	98	91
平均点	72.3	71.4	61.6
合格基準	60点以上	70点以上	80点以上

表3：年代別受検申込者割合

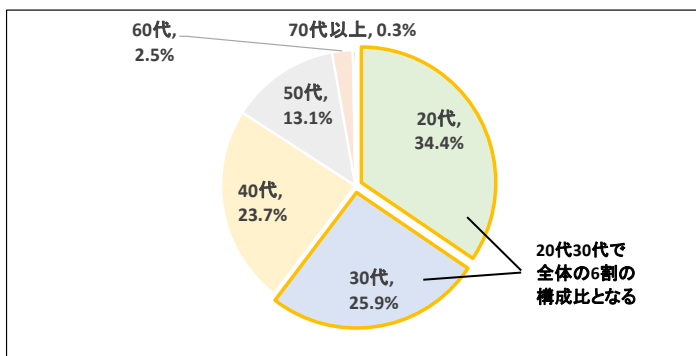
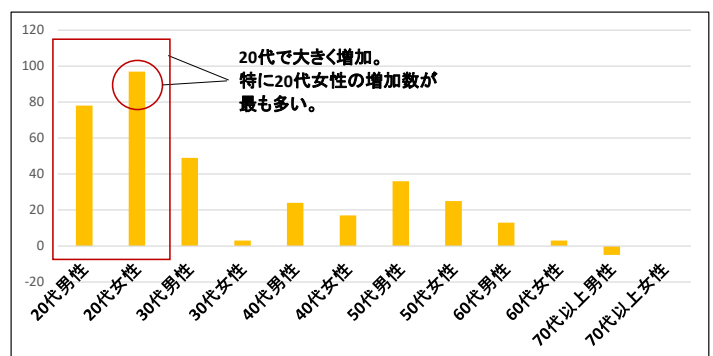


表4：増加人数(年代別・性別)



裏面もご確認下さい。

■ 第8回「日本ビール検定」において、最も正答率の高かった問題（1級の記述・論述を除く）

【3級 問001】（正答率：98.9%）

問題：「麦汁」の読み方として正しいものを、次の選択肢より選べ。

- (a) むぎじゅう
- (b) むぎじる
- (c) ばくじゅう
- (d) ばくじる

解答：(c) ばくじゅう

【2級 問087】（正答率：99.0%）

問題：2019年に日本で開催されるスポーツの世界的な大会について、「このスポーツのファンはサッカーファンの6倍もビールを飲む」と関係者が発言して話題を呼んでいる。このスポーツとは何か、次の選択肢より選べ。

- (a) バスケットボール
- (b) スケートボード
- (c) eスポーツ
- (d) ラグビー

解答：(d) ラグビー

【1級 問001】（正答率：82.1%）

問題：2019年4月から限定販売された「ドラゴンハーブヴァイス」は、田沢湖ビールが自社の「バイツェン」をベースにして、ある企業と開発したコラボ商品である。その相手企業の主力商品を次の選択肢より選べ。

- (a) 正露丸
- (b) 仁丹
- (c) 龍角散
- (d) 命の母

解答：(c) 龍角散

解説：3級の問題はビール製造工程上の専門用語であり、3級受検者は熟知している結果となりました。2級の問題は、ワールドカップ開催で話題性抜群のラグビーの問題だけに正解率も全級を通して最も高くなりました。1級の問題は、公式テキストには掲載されていない、本年発売商品に関する問題ですが、1級受検者はビール関連の幅広い情報を収集されていることがわかります。

以上